

- 1 森徹山「春秋図屏風」(部分)
江戸時代後期
- 2 池大雅「沈香看花・楓林停車図屏風」のうち
「沈香看花図」(部分) 江戸時代中期
- 3 「色絵赤玉雲龍文鉢」(部分) 有田
江戸時代
- 4 「石山切」(伊勢集新簡)(部分)
平安時代 天永3年(1112)頃
重要美術品

かがやきの日本美術

金銀 雲母きら Gold, Silver, and Mica Sparkling Japanese Art

2026
6.14 SUN
12.6 SUN

岡田美術館
OKADA MUSEUM OF ART

開館時間

9:00-17:00 [入館は16:30まで]

入館料

一般・大学生2,800円 小中高生1,800円

※団体割引(10名以上)・障害者割引あり
※展示内容や各種イベントを変更する場合があります。
ご来館前に当館ホームページにて最新情報をご確認ください。

バス停「小涌園」より徒歩すぐ

〒250-0406 神奈川県足柄下郡箱根町小涌谷493-1
TEL:0460-87-3931(代表)
www.okada-museum.com

美術館紹介 About the Museum

箱根・小涌谷に2013年秋に開館した岡田美術館は、日本をはじめとする東洋の陶磁器や絵画など多数の美術品を展示する美術館です。

The Okada Museum of Art opened in Kowakudani, Hakone, in the autumn of 2013, and exhibits a wide range of artworks, including ceramics and paintings from Japan and other parts of East Asia.

ミュージアムショップ Museum Shop

収蔵作品をモチーフにした文具・雑貨などのオリジナルグッズをご用意しております。

We have prepared original stationery and museum merchandise inspired by works from our collection.



駐車場について

料金:美術館・開化亭・足湯カフェ・ミュージアムショップ
ご利用の方は1回500円
庭園・駐車場のみご利用の方は1時間につき500円
台数:80台(うち身障者用2台)

ご利用案内 Information

お願い

※展示室への携帯電話・カメラ・タブレット類などの記録媒体、お飲物の持ち込みをご遠慮いただいております(開化亭、足湯カフェ、庭園などは撮影可)。
※飲食、喫煙は所定の場所をお願いいたします。
※ペット同伴はご遠慮願います。

Parking

Fee: 500 yen/per use (Visitors to Museum, Kaikatei, Footbath Café, and Museum Shop)
500 yen /per hour (Only parking or Garden)
Capacity: 80 vehicles (including 2 handicapped parking spaces)

Requests

※ We do not permit recording devices such as mobile phones, cameras, and tablets and also beverages to be brought into our museum galleries. (Photography allowed in Kaikatei, Footbath Café, Garden, and other designated areas.)
※ Please eat, drink, or smoke only on the designated areas.
※ We are sorry but no pets are allowed in the Museum.

開化亭 Kaikatei

11:00-17:00 (Last order 16:30)

昭和初期の日本家屋を改装した飲食施設。四季折々の庭園を眺めながら各種うどんや喫茶をお楽しみいただけます。

Kaikatei is a restaurant in a refined early mid-century renovated Japanese house. Savor a selection of udon and beverages as you take in the beauty of the garden.



庭園 Garden

9:00-17:00

庭園は、自然の恵みを感じる庭園空間を重視して設計しました。

In our garden, verdant forests, cascading waterfalls, and tranquil ponds create a landscape found only here.



足湯カフェ Footbath Café

9:00-17:00

大壁画「風・刻」を前に、100%源泉かけ流しの足湯に浸かりながらドリンクやスイーツをお楽しみいただけます。

足湯入湯料:
美術館ご利用の方は無料/
足湯のみご利用の方は500円

In front of the wall painting "Wind/Time" are footbaths with constantly flowing 100% natural hot spring water. Enjoy drinks and sweets as you soak your feet in our warm footbaths.

Footbath Fee:
Complimentary for museum ticket holders
500 yen for non-ticketed visitors.



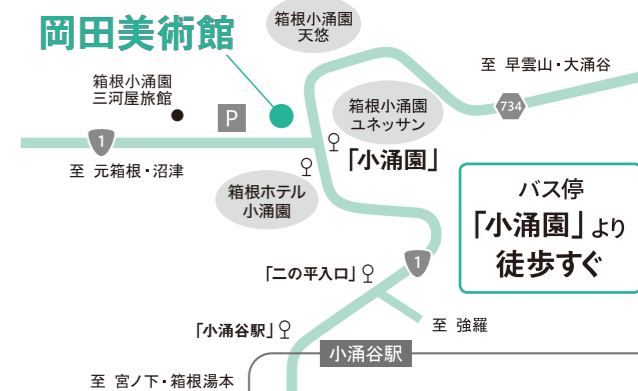
〈電車・バスをご利用の場合〉

- | | |
|-------|--|
| 新宿駅から | 小田急線(特急ロマンスカー)⇒箱根湯本駅 ■約90分 |
| | ①伊豆箱根バス(のりば①)・箱根登山バス(のりば②)⇒小涌園 ■約20分
②箱根登山鉄道⇒小涌谷駅 ■約35分
伊豆箱根バス・箱根登山バス⇒小涌園 ■約2分 |
| 東京駅から | 東海道新幹線「こだま」⇒小田原駅 ■約35分
伊豆箱根バス(のりば⑤)・箱根登山バス(のりば③) ⇒小涌園 ■約40分 |
| 強羅駅から | 施設めぐりバス⇒小涌園 ■約5分 |

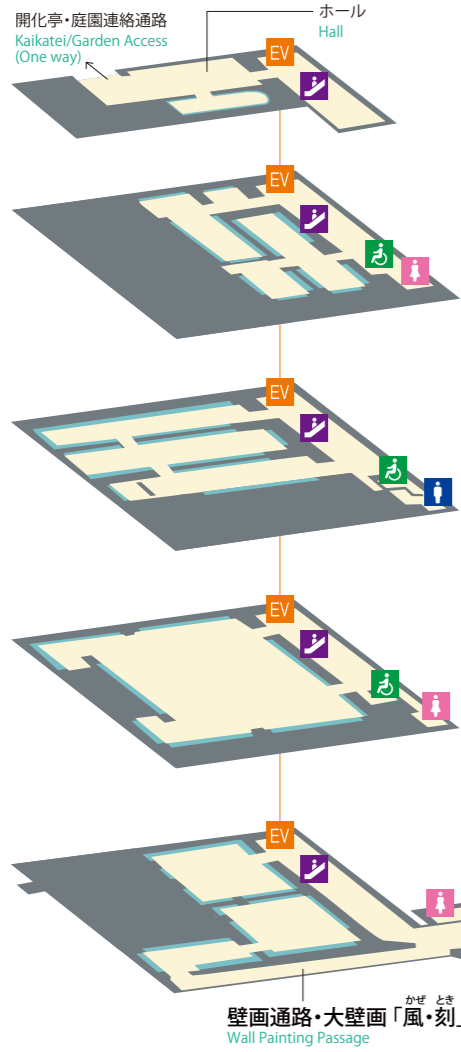
〈お車をご利用の場合〉 ※所要時間は、交通状況によって大きく異なります。

- 東名厚木IC ▶小田原厚木道路▶箱根IC ▶国道1号線▶岡田美術館 ■約60分
- 東名御殿場IC ▶国道138号線▶宮ノ下▶国道1号線▶岡田美術館 ■約40分

岡田美術館



常設展のご案内 Your Guide to the Permanent Exhibit



5 F 仏教美術
Buddhist Art

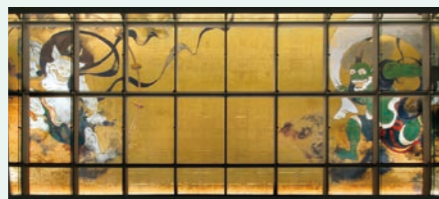
4 F ガレとドームのガラス
Glass of Gallé and Daum

3 F 特別展「金銀雲母きら
—かがやきの日本美術—」
Gold, Silver, and Mica:
Sparkling Japanese Art

2 F 日本陶磁、和ガラス、日本絵画
Japanese Ceramics and Glass,
Japanese Painting

1 F 中国・韓国陶磁、
縄文土器・はにわ
Chinese and Korean Ceramics,
Jōmon Pottery and Clay Figures
(Haniwa)

- EV エレベーター Elevator
- エスカレーター Escalator
- 男性用トイレ Men's Restroom
- 女性用トイレ Women's Restroom
- 多目的トイレ Multi-Purpose Restroom



福井江太郎「風・刻(かぜ・とき)」平成25年(2013)
Fukui Kōtarō, Wind/Time

美術館の正面を飾る縦12m×横30mの風神・雷神の大壁画
The massive wall painting of Wind and Thunder God (12×30m)

重要文化財「木造薬師如来坐像」をはじめ、仏像や仏画、密教法具など仏教美術の作品をご覧ください。



「木造薬師如来坐像」
平安時代中期 11世紀
重要文化財

フランスのエミール・ガレとドーム兄弟のガラス作品を展示。豊富な色と複雑な技で表した、幻想的な世界をお楽しみください。

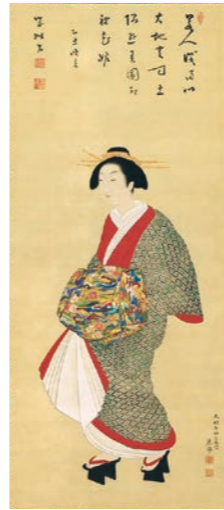


エミール・ガレ「麦穂文花器」1899年

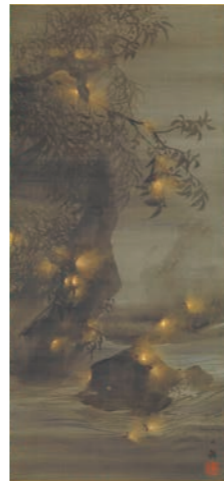
古九谷、鍋島といった肥前磁器や野々村仁清、尾形乾山の京焼など日本のやきものとカラフルな和ガラスを展示。



中国の陶磁器と玉器、韓国の陶磁器、日本の土器やはにわなど、東洋の工芸作品をお楽しみください。



豪華な帯の地色に金、打掛の菱文様を銀で表す円山応挙「三美人図」のうち「太夫図」
江戸時代 天明3年(1783)
重要美術品



金の光を放つのは宇治川の螢?
塩川文麟「流崖群螢図」
江戸時代末期～明治時代初期



金箔と虹色に輝く貝片が黒漆地に映える「黒漆葡萄栗鼠図螺鈿箔給小箱」
琉球王朝時代



肥前磁器の金銀彩は1650～60年代頃に限定「染付金銀彩網干文輪花皿」
有田 江戸時代



表紙は雲母摺で、本文の紙にも雲母を施す「謠本」(表紙) 桃山～江戸時代初期



平安時代の名品を再現した料紙に、現代の名筆が揮毫高木聖鶴「古今和歌集抄」(部分) 平成24年(2012)



輪郭に金線を重ねて雅な唐時代を演出池大雅「沈香看花・楓林停車図屏風」のうち「沈香看花図」
江戸時代中期



二通りの色味の金砂子を撒いて春秋の陽気を表現 森徹山「春秋図屏風」 江戸時代後期



金銀の文字と紺地は浄土のイメージ「仁王経 巻上」(中尊寺経) (部分) 平安時代後期



平安時代の書と料紙の白眉「石山切」(伊勢集断簡) 平安時代 天永3年(1112)頃 重要美術品

金銀雲母きら Gold, Silver, and Mica Sparkling Japanese Art かがやきの日本美術

金・銀をはじめとする輝く素材は、古来、洋の東西を問わず人々の心を引きつけ、尊ばれてきました。聖性や高貴さ、権力の象徴として、あるいは豪華な装飾などに使われ、素材の美を追求した作品も作られています。日本では貴族文化が栄えた平安時代には、金・銀が併用されることが多く、雲母と呼ばれる白雲母の微粉も好まれました。金・銀の繊細な表情や雲母の白くやわらかな輝きに、日本人の洗練された美意識がうかがわれます。本展では、平安時代の経典と書跡を核とし、桃山時代から現代に至る絵画、書跡、やきもの、漆芸を合わせて約40件を展示します。美しい料紙(書を記す紙)、上品な雲母摺の冊子、金・銀を施した屏風など、多様な「かがやきの美術」をお楽しみください。

The Heian period (8th~12th century) saw noble culture flourish in Japan, including the extensive use of gold and silver in combination. The use of muscovite (a colorless or pale brown mica) dust, called *kira* in Japanese, was also very popular. The delicate expressions of gold and silver and the soft white sparkle of *kira* provide an excellent window into the refined aesthetic sensibilities of the Japanese. This exhibition has been built around a core of Heian period sutra and calligraphies. It comprises approximately 40 pieces—including paintings, calligraphy, ceramics, and lacquer—ranging from the Momoyama period (beginning of the 17th century) to the modern day. With beautiful writing paper, elegant *kira*-printed booklets, and folding screens decorated with gold or silver on display, we invite you to enjoy varied forms of sparkling Japanese art.

会期中のイベント

参加無料(要入館料) 定員あり

関連講座

雲母の美/池大雅の金の使用
小林 優子(岡田美術館 学芸員)
10月10日(土) 午後1時~午後2時30分

関連スライドトーク

金銀の美と中国のやきもの—唐時代金銀器から陶磁へ—
佐藤 有沙(岡田美術館 学芸員)
9月19日(土) 午後1時~午後2時

学芸員によるギャラリートーク

7月3日~11月27日の毎週金曜日 午前11時~

※各イベントは変更または中止する場合があります。ご来館前に当館ホームページにて最新情報をご確認ください。